



# ふじ美が原

富士見中学校



令和三年度三学期始業式

## 三学期の抱負

年四部 雨宮 紳和

僕が三学期で頑張りたい事は、たくさんありますが、その中でも特に頑張りたい事は三つあります。

一つ目は、誰にでも元気な挨拶をするということです。僕は二学期ではすれ違った人に明るく元気な挨拶ができなかったのですが、三学期では朝やいろいろなところで、知り合い関係なく誰にでも明るく元気に挨拶をしたいです。

二つ目は、提出物を毎日しっかりと提出するということです。最初の一学期は、しっかりと提出物を出せていたのですが、一学期になり少し気が緩みがちになってしまい、提出物を出せませんでした。三学期はもう一度気を引き締め毎日提出物を提出できるようにしたいです。そして毎日の勉強時間を確保するというのを忘れないようにしたいです。

三つ目は、授業に積極的に参加するということです。なぜ授業に積極的に参加できるかわからないところなどを発言しないで、そのままわからないままにしています。三学期はわからないところや、いろいろなことを発言して授業へ積極的に参加していきたいです。

最後に、一学期までを振り返ってみると、当たり前のことが少しずつでき

なくなっていました。新年になり、気持ち新たに当たり前のことを当たり前前にするということ、そして難しくて分からないことでもあきらめずに挑戦するということを忘れずに、三学期を過ごしたいです。

## 三学期の目標

一年一部 加藤 結

私は頼られる人になりたいです。良い方向へ導いてくれる人、自分の行動に責任を持ち相手のことを考えられる人はみんなに頼られる人だと考えています。そのために、次の三つを大切に生活したいと思います。

一つ目は、先を見通すことです。今の事しか考えていなくて、失敗してしまうことがあります。私は一・二学期に活性化委員会の学年責任者として活動してきました。その中で一学期から三学年へのサブライズ応援を計画したのですが、先を見通すことが不十分で効率の良い練習ができませんでした。そこで、先を見通すことの大切さを知ることができました。

二つ目は、はじめをつけられるようにすることです。今の私は、自分の思うように、場に合った行動ができていない時があります。それがうまくいく時もありますが、失敗する時も多くあります。静かにする時は静かにする、楽しむときは思う存分楽しむ、集中するときは集中するというようにその場に合った行動したいと思います。人に

合わせて一つになって行動する時と自分の考えで一人になって行動するときのメリハリをはっきりつけて生活したいです。

三つ目は、相手の気持ちを考えることです。いくら自分のことができたとしても相手の気持ちを全く考えない人だったら、頼られないと思います。どんな気持ちなのか、どんなことをしたら喜ぶのか、などを日々の生活で考えたいです。相手の気持ちに寄り添いながら自分がされて嬉しいと思うことをたくさんし、嫌だと思ってしまうことをやらないようにしたいと思います。

全校を引っ張っていく三年生に向けての準備楽器として理想の自分に近づけるように、三学期はこの三つのことを大切にしながら自分を高めていきたいです。

## 卒業に向けて

三年一部 後藤 詩織

私は三学期に卒業に向けて意識したいことが三つあります。

まず一つ目は、富士見中の三本柱を大切にしていこうということです。この三年間で磨いてきた、清掃、挨拶、合唱を最上級生として引き継いでいきたいです。高校やこれから先で、周りの人みんなが清掃、挨拶、合唱に力を入れている環境はなかなかないと思います。富士見中だからこそ三本柱に力を入れていきたいです。三本柱の中でも特に挨拶に力を行きたいです。校内や校

外で挨拶をすることが大切です。

外ですれ違った人に挨拶をする時、もっと大きな声で挨拶をすること、授業の始めと終わりの挨拶に心を込めるということを実践していきたいです。挨拶を続けていく事は、これからの私にとっても人と人をつなぐ大切な力になっていくと思っています。

二つ目は友達と過ごせる時間を大切にする事です。多くの人と別の進路を選択することになると思います。今仲間と過ごさせているこの実感は貴重なものなんだ、という意識を持って、休み時間の友達とのコミュニケーションを大切にして生活していきたいです。

三つ目は自己管理をしっかりすることです。今まで自己管理ができていなくて夜にゆっくりしてしまい、朝早く起きられなかったり、学習の計画を立てても最後までやり抜くことができないことがあります。卒業するまでに自己管理ができるようになって、やるべき時にやるべきことをできるようにになりたいです。

このような三つのことを三学期に意識していきたいです。卒業までの時間はあっという間だと思いますが、後悔のないように毎日を過ごしたいと思います。

### 校長先生の挨拶

新年あけましておめでとごいよいよ

冬休みの入りはコロナが落ち着いている状態でしたが、休みが明けると同時にオミクロン株の脅威が迫ってきていて、今年もコロナと向き合うスタ

トとなりました。

さて、三名の代表のみなさんの決意を聞かせてもらいました。二年の雨宮さん、一年の加藤さん、三年の後藤さんの内容は、どれも私がこれからお話しする内容と同じです。今年最初にさせていただく話は、一学期終業式の話の続きでもあります。努力が実を結び「ブレイクスルー」を起こすためにはどうしたいかという話から始めます。

これはある野球選手が語っていたことです。

僕は高校生活の三年間、一日にたった十分ですが、寝る前に必ず素振りをしました。その十分の素振りを一年三百六十五日、三年間続けました。これが誰よりもやった練習です。」

これは、野球のイチロー選手の言葉です。イチロー選手のこの言葉を四字の漢字で表すと「凡事徹底」と言う言葉が当てはまります。この凡事徹底が一学期の終業式でもお話ししました「ブレイクスルー」を起こす大事な要素であるという話をしていきます。

『凡事徹底』の意味は、当たり前前ことを誰もができないくらいやるという意味です。この「当たり前前」を目標にすることから始めます。イチロー選手もこの目標設定について、こんな風に言っています。

「目標」って高くし過ぎると絶対にダメなんですよ。必死に頑張っても、その目標に届かなければどうなりますか？諦めたり、挫折感を味わってしまう。それは、目標の設定ミスなんです。頑張れば何とか手が届くところ

に目標を設定すれば、ずっと諦めないでいられる。そういう設定の仕方が一番大事だと僕は思います。」

どうでしょう。高い目標を掲げ途中で挫折するより、手の届きそうな目標から始める事が大切だということだと思います。みなさんが凡事徹底をやる為に最初に「目標設定」をするのなら、イチロー選手のように、最初から高い目標を掲げず、出来ることからやってひとつひとつ積み上げていくことが大切です。

次は、低く設定した「目標」をひとつずつクリアしていく中で大事にすることです。またやりたいなと思う気持ちを起こすことだそうなんです。

イチロー選手はこう言っています。そんなに好きな野球でも、毎日続けていると、もう疲れた、今日は嫌だなと思う時ってないですか？そうなのは、自分の能力で絶対に發揮できないですよ。バットが持ちたくて持ちたくてしょうがない。そういう心境で、僕は試合に臨みたいんです」さらに、こう続けます。初めてお父さんとキャッチボールした時、どんな気持ちになりましたか？またやりたいなと思ったでしょ。その気持ちなんですよ。そういう気持ちで自分できっかり作れば、絶対に技術って向上していくと思えますよ」

そして、イチロー選手は子供たちによく、どうすればこんなに沢山ヒットを打てますか？という質問を受けるそうですが、その時は必ずこう答えます。いつまでも少年の様な心で、常に「ワクワク」す

る気持ちを自分で作り続けることだと。プラス思考が「継続」するために大事だということですね。では、ここまでの話をまとめます。

- ① 凡事事徹底とは、当たり前前ことを当たり前にはなく、人が真似できないほど「徹底的」にやること。
- ② 目標を低く設けて、小さな成功体験を積み重ねる。
- ③ 継続するために、少年のような心で常にワクワクする気持ちをつくること。

さて、新しい年が始まりました。一年のスタートにあたり、それぞれ今年一年の目標を立て、その目標を達成するための小さな凡事徹底を決めだし、少年のような心で、わくわくしながらやり続けましょう。最後に、今年の干支は「寅」です。

寅は、方角でいうと東北東、時刻でいうと午前二〜五時を指す漢字です。

漢字の由来としては、「引く」とか「伸ばす」などに似た意味があるようです。別の本では、草木が伸びていく様を表した漢字とも記されています。天に向かってたくましく伸びていく草木の姿は、まさしく気高い虎そのものといえるでしょう。みなさん一人一人が目標に向かって伸びていく令和四年を期待します。

富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 0266-6212009

FAX 0266-6217409

担当 両角 太